

ウルフキエル・ウィリアム

JAPN320S-01_FA18:Advanced Japanese SL

Elementary Schooler Taming 101

卒業をする J A P N の学生たちは頻繁に言語を教えるので、言語を教える経験は大切です。この JAPN320S のクラスはその経験をしてできる。普通は仕事をしてる間だけにこの経験を貰うから凄くいいポイントと思います。それと JAPN320S は学生たちの教育を強調しています。気を付けないとレッスンプランを毎日している時は学生たちの教育を忘れるかの可能性があるからそれも JAPN320S のいいポイントです。

一時間の長さの授業は誰でも経験をしてもらうけれど、二時間を閣下っている授業はもっとずるい。5 さいから 8 さいの子供たちはアテンションがぜんぜんないからそれは普通より難しいです。それでも、JAPN320S を取った間に凄くいいことを気づきました。子供たちはいろいろなものを習いたいです。特に、除法を面白く教えたら、子供たちは何でも習う。去年の大サクセスは色を教えた時です。色を教えるために私のグループはゲームを作りました。そのゲームはハンカチ落としゲームと似てました。負けた人は日本語で色を言ったらその色の人皆新しい椅子を探さないと負けちゃう。今気づきましたが多分子供たちは皆も 7 時間ぐらいのレッスンがも貰ったからゲーム以外のレッスンが多分難しい。

教えている時は学生たちの年齢は大切です。JAPN320S を取った時はその 5 さいから 8 さいの子供はすぐ感情を傷つけるとすぐ習いました。ごほうびをあげるために日本のチョコレートを持ってきました。でも、すぐ答えられない人はチョコレートを貰え

なかったから泣いた子供がありました。その問題の答えはよく答えられない子供を答えをあげたら皆は一緒にチョコレートを食べれる。

子供たちはアテンションがぜんぜんないから授業の前にはたくさん準備をしたほうがいい。一番悪い日は多分日本の昔の歴史を教えた時です。折り紙兜を作って欲しかったが、私たちの新聞は小さすぎたからその作った兜は被らなかった。それと、兜を作るのはご褒美にしたほうが良かったけど、作った兜を被らなかったから子供たちは皆怒ってなって何も習いたくなかった。そしてそのあとにSAITO先生が来たから凄く大変でした。一つのいいところはかぐや姫の話を教えてた時皆は皆と小さい演劇を演じてたけどそのすぐあと皆はふざけてた。そしてSAITO先生が出た。

毎日教えていると教えるゴールを忘れるかもしれないけど、一番大切なことは子供たちがたくさん習っていることです。

So many teachers are working very hard to make sure their students learn as much as they can, but there is a reason that many students receive substandard education: poor oversight allows many teachers to teach basically nothing or otherwise have their students learn very little. Often times, this is within the accepted standards of teaching set by the state. Teaching is a very demanding job, and teachers aren't being paid enough to be doing the amount of work that needs to be done. In spite of that, teachers have a duty to teach as well as they can, because society is failing to teach many kids, and teachers are in a good place to teach them. It can be easy to forget goals in teaching students in the day to day of teaching, and not all students will be able to learn from certain approaches to teaching, but these are important to make sure students learn as much as possible.